

日時：平成 27 年 2 月 9 日（月）18 時 30 分 ～19 時 50 分

場所：平川市克雪管理センター

対象町会：東部地区

参加人数：17 人

■要望、質疑応答

内 容
<p>○地方創生事業について (市民からの要望・質問)</p> <p>地方創生事業と報道があるが、どのようになるのか。この事業を活用し、切明から小国に抜ける行政連絡道路を作ってほしい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・地方創生事業については、まち・ひと・しごと創生ということで国より来ているが、緊急の活性化事業と将来に渡ってのものに分かれている。緊急なものとしては、プレミアム商品券、福祉灯油を予定しており、8, 900万円ほどの事業費を見込んでいる。もう一つの地域創生の方が、5, 200万円ほどを見込んでいる。・地方創生は、平成27年度から交付金が交付される予定である。先般、国で3.5兆円補正され、その中で地域住民生活等緊急支援のための交付金が前倒しで補正をみている。・将来的なものとしては、人口減少対策、地方に東京から人口を移すような特色ある地方の創生。また、地方の企業を元気に、観光のために交付金を使ってくださいとなっている。・切明から小国への道路整備は、今回の交付金は使えない。今回の交付金は、ソフト事業が対象であり公共事業へは使えないものである。・公共事業については長期総合プランの中で、順を付けながら必要性のあるものについては年次を追ってやっていく。
<p>○過疎債について (市民からの要望・質問)</p> <p>葛川小中学校が廃校となったが、過疎債への影響はあるか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・過疎債は使えない。辺地債が使える。辺地債は事業費の8割が交付税措置される。過疎債は7割であり、過疎債よりも有利である。 <p>(総務課長)</p> <ul style="list-style-type: none">・学校が無くなった場合は、辺地債の点数が上がることとなる。
<p>○福祉灯油について (市民からの要望・質問)</p> <p>福祉灯油1万円券を出すとあったが、いつ周知するのか。</p>

(市の回答)

・現在、対象者を洗い出ししている最中である。また、事業者への説明会も今後予定している。おっってお知らせしていく。

○道路脇の草刈り、泥上げについて

(市民からの要望・質問)

国道から善光寺平までの道路が7kmあるが、道路の脇の草刈り、泥上げを無償でやってきた。他の町会では町会の人たちで草刈りなどをやっていると聞かすが、善光寺平では10軒しかなく、この10軒で行っている。皆、高齢になっており泥上げも大変である。市で道路脇の管理をして貰えないか。

(市民からの要望・質問)

マイロード・マイタウン事業を拡充できないか。

(市の回答)

・高齢化で大変だとは思いますが、自分たちのむらでできるところは、自分たちでやっていただきたい。

・地域でできるところ、地域ではできないので行政にお願いするところを理解しあいながら、地域づくりをやっていかないといけないことから、懇談会をやっている。

・どのような対応ができるかを考えないといけないが、直ぐに市でやるとはならない。何ができるかを検討しなければならない。

・マイロード・マイタウン事業は、人夫賃は該当にならない。

○集会所の改築について

(市民からの要望・質問)

昨年、総務課より集会所の改築について、古い順で建て替えていくと説明があった。大木平の集会所は、昭和46年築で一番古いとのことである。町会員も建替えを希望しているので、是非お願いしたい。できれば、一本木町会くらいの広さの集会所を希望する。

(市の回答)

・大木平の集会所は昭和46年築で、計画でも早めに改修しなければならないとなっている。

・大木平は13世帯とのことである。向野集会所で35㎡、松野集会所で50㎡であり、どのくらいの集会所を作るかを町会とも話し合いながら検討しないといけない。

・新基準では1戸15,000円の負担で、残りを市で持つこととなるが、大木平地区の場合、ほとんどを市で持たなければならなくなるので、市のなかでもさらに検討をしていかないといけない。

・古い集会所が多くなっているため、耐震調査も行いながら、年間1億円程度の予算をみて毎年2～3箇所ずつ建替えていくようにしなければならない。

・耐震の問題がある集会所を有する町会に集まっていただき、会議を行う予定である。対象町会には、今後説明をしていく。

・計画では、耐震基準に満たない施設については、1世帯15,000円の負担を出せば新築も視野に入れながら検討するという考えである。ただし、予算が限られているので、要望どおりに全て実施できるかはわからない。新築したとしても、テレビ、冷蔵庫などの備品は対象外である。新築し、各世帯から負担を出してもらおうというのであれば、修繕で対応するという選択もできる。

・集会所を建てる際は1世帯15,000円であるが、建てた後は維持管理を町会で行っていただくこととなるので、このことも検討いただきたい。

○防災無線について

(市民からの要望・質問)

自宅に居ると防災無線がほとんど聞こえない。また、トラクターの音にかき消されて防災無線が聞こえない。

まちづくり懇談会の開催周知を、防災無線を利用し行ってほしいとあったが、防災無線の鍵をもらっていない。鍵はどこでもらえるのか。

(市の回答)

・防災無線の鍵が渡っていないことについては、確認を取り皆さんに連絡する。

・防災無線は、地域に万遍なく聞こえるように設計されているが、風向き、トラクターの作業中などには聞こえないこともある。メール配信等の機能もあるので、ご理解をお願いする。

○道路の拡幅について

(市民からの要望・質問)

温川から大木平に上る道路は、非常にカーブがきつい。これまでも少しずつ拡幅工事をしてもらっているが、引き続きお願いしたい。

(市の回答)

・危険な箇所は拡幅等も検討しないとイケないが、道路の全てを拡幅することは難しい。危険な箇所については、辺地債などの該当する起債を使いながら進めていく。

・全てを拡幅することは難しいので、町会長から、ここが危険であるなどと話をいただきたい。話をいただければ、市役所内でも検討していく。

○防火水槽について

(市民からの要望・質問)

一本木にある防火水槽に、泥が入らないよう対策を講じてほしい。

(市の回答)

・雪解け後に現場を見させてもらい、早くやらないとイケないものは、早く対応する。

○道路の復旧工事について

(市民からの要望・質問)

善光寺平の元の教会付近の道路について、舗装が崩れているところがある。昨年秋に土

木課に現場を見てもらったところであるが、早く工事をしてもらいたい。
連絡した際に、バリケードを置いてくれたが、その後音沙汰が無い。

(市の回答)

・土木課に確認をとる。

○農業用水の確保について

(市民からの要望・質問)

私の所では、20人で60町歩ほどの畑で野菜を作っている。しかし、防除用の水が無く、今までは黒石の厚目内から無償で貰ってきている。水を貰うという契約は、期間が2年間であり、2年おきに契約を締結し直している。契約時には、平川市、黒石市の農林課も入っている。

契約上の負担金は無く、無償で水を貰ってきているが、契約を結び直すたびに厚目内の人たちに一席を設けなければならない。その負担が2年に1回は来るので、農家の数も減ってきており、負担が大きいと感じている。

厚目内の廃校舎、また厚目内の水を利用することができないかとのことで、東京の業者が視察に来てしていると聞いている。

厚目内の人の中には、水を提供する必要はあるのかという話も出ているらしい。

行政で農業用水のための井戸を掘ってもらえないか。既存の溜め池があるので、その近くでボーリングをすれば、溜め池を利用できる。

(市の回答)

・先般も話を伺った件である。農家の皆さんが苦勞しているのはわかるが、行政で井戸を掘り、水を確保するというのは難しい。災害などの際には、行政でさまざまなことを実施しているところであるが、農家の皆さんが野菜を作るために行政で水を確保するというのは難しいところである。簡単にやれる事業ではない。

・昔、田があったと聞かすが、その水はどのように確保していたのか。

(市民からの意見)

当時は、砂子沢の川からポンプを使い、水を上げていた。しかし、そのポンプも壊れてしまっている。

○斜面崩壊について

(市民からの要望・質問)

上の平は大雨が降った際に崩壊する可能性がある。斜面から水が湧き出しており、大雨が降ると深層崩壊する危険性がある。斜面に横向きにボーリングをし、水抜きをしてもらいたい。

(市の回答)

・県の土砂災害指定も受けている場所である。県にも要望し、県でも調査に来ている。回

答は事業費がかかるということであり、発展した回答は来ていない。事業費が莫大であり、市単独ではできない。時間がかかると思う。

○保育園児世帯への助成について

(市民からの要望・質問)

今年度より、子育て支援とのことで第2子から保育料が無料化となった。

昨年度で葛川小中学校が閉校し、今は金田小学校などにお世話になっている。保育所も以前閉園となり、東部地区の父母は保育園への送り迎えに非常に苦勞している。東部地区の少子化に影響していると考えられる。保育園は浅瀬石まで通っている状況である。東部地区の保育園児のいる世帯に特別に助成、手当てを考慮してもらいたい。例えば、保育園までの送迎バスを出せないものか。

50年後には、今、保育園に通っている子どもしか生きていない状況にある。子どもたちに先行投資をしても良いのではないか。

(市の回答)

・今後、1市2制度ということも考えられるのであろうが、町村合併し1つの制度にしてきたなかで、東部地区だけ特別にとというのは難しい。

・子どもを一人産んでいる人が、2人目、3人目を産みたいとの思いになればとのことで、第2子からの保育料を無料化した。

・国の制度では第3子からが保育料無料化の対象となっている。平川市の特定出生率が約1.2というなかで、少しでも人口を多くしたいとの思いがあり、第2子から無料化したところである。

・今後、ますます高齢化が進めば、自分で自動車を運転して下がることも出来なくなってくる。バスを出すということも策としてはあるが、どのくらいの利用者があるのかということもある。一方的にバスを運行させれば良いという問題でもない。

・保育園を閉園した時には、地元とも話し合いの場を持ち、勤め先が黒石の方にあるとのことがあったと思う。

・黒石市の保育園に通うには、保育園の定員に空きがないと入れない。子ども・子育て支援法ができ、今後、認定こども園などになった場合には、今よりもさらに定員管理が厳しくなりそうである。行政として何ができるのかを、勉強させていただきたい。

○旧葛川小中学校校舎の利用について

(市民からの要望・質問)

学校の跡地利用について、どのようになっているか。

(市民からの要望・質問)

学校の2、3階部分を老人保健施設にしてはどうか。市でボーリングし温泉を掘り、暖房に利用すれば良い。温泉は、周辺の人にも分け、使用料を徴収すれば維持管理していけると思う。

(市の回答)

- ・校舎を診療所、支所、デイサービスに活用できないかと協議している。
- ・診療所を持ってくるには、レントゲン室を整備するための投資が多い。また、今後東部地区の医療がどのようになるか分からないということもある。
- ・デイサービスを移すことも検討したが、デイサービスは木造施設では設置できないとなっている。木造を直すとなれば、これもまた非常に経費がかかる。
- ・支所を移転させることは面倒ではない。しかし、克雪センターも古くなっており、支所と併せて克雪センターも移せばどうかとあったが、現段階で結論は出ていない。
- ・市役所内でも検討をしているが、どのように旧校舎を使用するかは決まっていない。全ての機能を移せば良いが、簡単にはいかない。使用しないと学校の建物も傷んでくる。地元の人との協議を重ねていく。
- ・葛川診療所は木村先生が居なくなれば、次の先生を探せるかということもある。
- ・医療が広域化となっているなかで自治体病院を見ると、黒石病院が残ることとなる。輪番制で毎日24時間診てもらえる病院、救急時に診てもらえる病院が、圏域に必要である。
- ・近くで見てもらえる診療所を維持するのか、また例えばバスを出せば良いのかなど、地元の皆さんと話し合いながら考えていく。

○旧葛川小中学校の体育館について

(市民からの要望・質問)

体育館に直接出入りできるように、入口を作って欲しい。

電気については、自家発電機を置けないか。

(市の回答)

- ・校舎部分をどのように利用するのか結論が出ていない。来年度以降の検討課題である。
- ・体育館に新たに入出口を作り、利用するには消防法をクリアしなければならない。これに経費が約2,000万円かかる見込みである。1年に何回かのためにドアを付ける必要があるのかと考えさせられる。
- ・体育館を利用するためには、電気が必要である。地域で大きな祭りやイベントがあれば可能な限り利用したいとのことで、電気の契約を残している。一旦、契約を切ってしまうと、いざ使いたいとなったときに利用できないことから残している。毎月6～7万円の基本料金を支払っている状況である。
- ・水道も元栓を閉めている状態である。問題はトイレであるが、浄化槽を掃除し水を溜めている。浄化槽への電気は契約を切っており、使用するとなると毎月の基本料、手数料、検査料を支払わなければならない。
- ・市役所内でも、5課ほどが関係しているので協議をしているところである。
- ・災害時用の発電機が、体育館の設備、照明にそのまま利用できるかは別問題である。災害時用の発電機は、最低限の電気を賄えるようなものである。